

放課後等デイサービス キッズボンド北方 自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	8			・支援室が広い ・利用人数を守っている。
	②	職員の配置数は適切であるか	8			・送迎に行く職員と教室待機する職員を配置出来ている。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	3	2	2	・入口に段差があるため、車いす利用者がいた場合、入りづらい可能性が高い。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	8			・毎日、清掃を朝と終業後に行い、玩具の消毒を週に1回程度、ハンモックの消毒を月に1回程度行っている。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	8			・正規職員、パート職員共に、話し合い等を交えながら振り返りを行っている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	8			・会社で結果を公開・共有している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			8	・現在行っていない。
適切な支援の提供	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	8			・ZOOMや、実地研修を、積極的に取り入れて行っている。
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	8			・保護者や、本人の意向を尊重して、相談員にも入ってもらい、作成している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	8			・アシストを取り、子どもの現状把握をしている。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	8			・正規職員だけでなく、パート職員とも相談して決めている。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	8			・集団あそびは、月ごとに変えたり、土曜、祝日の活動も被らないように調整している。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	8			・体力の向上や、手先の巧緻性を高める為など、利用者の課題に合わせて支援内容を設定している。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	8			・個人と集団にわけて計画を作成している。
⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	8			・朝の出勤時や利用開始前に情報共有や、その日の担当を決めて、対応している。	
⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	8			・保護者や児童の話や様子をしっかりと全職員に共有している。	

	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	8			・毎日、個人支援記録を取り、支援に繋げていく。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	8			・6ヶ月以内のペースでモニタリングをして見直しを行っている。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	8			・週ごとにわけて対応している。
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	8			・管理者や相談支援員、担当職員が参加できるときはしている。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	7		1	・児童の様子や送迎の対応が必要な時は、随時連絡を行ったり、情報共有をしたりしている。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	7	1		・主治医とは連携は取れていないが、受け入れ態勢は取れるようにしている。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	6	1	1	・必要な情報があるときは、情報共有を行い、共通理解が出来るようにしていく。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		8		・現時点では、該当する児童がいない。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		7	1	・研修等は受けていない。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	5	3		・現時点では児発が減ったため、していないが、過去にはしていた。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	6		2	・協議会等の参加はできていない。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	8			・特に、事業所での様子や、自宅での様子」を電話や送迎時にお伝えをしている。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	6	1	1	・個人的には行っていない為、あまりよくわかっていない。
保護者への説明責任等	⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	8			・保護者に聞かれた時に、必要な情報を説明している。
	㉑	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7		1	・送迎に行った職員が答えられることは対応したり、児発管に伝えたりしている。
	㉒	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		6	2	・保護者会などには参加していないため。

	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8			・保護者からの意見や児童からの意見をもとに活動の見通しや、送迎の対応の改善などを行っている。
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	8			・毎日の行事予定の配布や通信等での活動の様子を、保護者に伝達、発信している。
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	8			・SNSに投稿する際に、顔を消したり、外部への情報漏洩がないよう、投稿する際にはダブルチェックを行ったり、徹底している。
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	8			・言葉遣いや、ジェスチャーなど、保護者や利用者本人に伝える配慮が来ている。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	6		2	・行事に地域住民の招待は行っていない為。
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	7	1		・管理者が作成し、周知している。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	8			・月に1回程度、洪水、火災、地震、天災等の避難訓練を行っている
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	8			・年に何度かのZOOM研修や月1回の振り返りを行っている。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	8			・身体拘束を行うほどの利用児はいないが、契約時に伝えるようにしている。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	8			・活動等で「食育」もあるため、保護者に確認を取って対応をしている。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	8			・事故やケガにつながることは、ヒヤリハット報告書を作成している。